

平成 30 年 5 月 26 日 定時総会

平成 29 年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人 みんなでお城をつくる会

内	容
1 事業活動方針	
①	<p>・認定 NPO 法人の目標や活動内容を周知し、一般市民からの賛同を得るように努め今後の寄付活動の準備を進めた。来年度の目標としてサポーター募集のキャンペーンを展開することを決めた。</p> <p>・税務経理に関する外部委託。 税務に関してはNPO 法人の税務に精通した人材が必要であったため「会計フリー」ソフトを導入し、小酒部税理士事務所に業務委託をした。</p> <p>・直接の天守木造への寄付(基金積金)だけでなく、その目的を達成するために必要な調査や関連事業も進めた。もって、天守木造復原に係わる市当局との調整を図り、天守木造復原に必要な(FS: Feasibility Study(可能性検証検討))研究の具体的な課題への解決案を提案した。次年度活動報告に資料添付</p>
②	<p>Web・通信等の媒体を使用し広く市民に天守木造復原の周知を進めた。並行して他イベントへの参加を通し普及活動を行った。</p>
2 事業内容	
(1) 特定非営利活動に係る事業	
① <u>小田原城天守木造復原に関する普及事業</u>	
ア)	<p>地球交響曲第八番の上映会を開催し参加者約 400 名を集め、天守の木造復原と森を大事にしていくことは繋がっていることを参加者にアピールできた。登壇した龍村監督、ヴァイオリンドクターの中澤宗幸氏、NPO「森は海の恋人」代表畠中重篤氏、俳優の榎木孝明氏も含めたパネルディスカッションでは会場参加者も含め大変好評だった。</p>
イ)	<p>創立記念事業として熊本城調査研究センター所長渡辺勝彦先生を招き地震での被害状況と今後の再建プロセスについて伺った。これを機に小田原城にも起こりうる災害に備え何を準備していかなければならないか市民にも訴えていく必要があると確信した。</p>
ウ)	<p>募金箱・自販機の継続</p>
② <u>伝統木造技術の継承事業</u>	
ア)	<p>その他 各イベントに参加し情報交換や活動のPR 「伝統建築工匠の技:木造建築物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ文化遺産登録に向けた「普請文化フォーラム」にブース出展</p>
③ <u>森林の保護・育成事業 天守の森</u>	
ア)	<p>ブリの森イベントに参加し活動のPR</p>
④ <u>その他この法人の目的を達するために必要な事業</u>	
	<p>小田原城調査研究機関設置に向けての準備</p> <p>天守木造化可能性検証検討委員会：(通称 木造天守 FS)」に伴う行政との協議は 29 年度をもって終了し、小田原城調査研究機関設置に伴う次の課題に向けて取り組むことを確認した。詳細は次年度事業報告書に添付</p>
	<p>以上</p>